



発行所
自由民主党本部
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)

自由民主

LIBERAL & DEMOCRATIC

埼玉県第2選挙区支部版

(川口市・鳩ヶ谷市 第368号)

〒332-0034 川口市並木1-10-22

TEL 048-254-6000 FAX 254-5550

URL <http://www.kawaguchi-jimin.jp/>

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.or.jp/>

新藤義孝衆議院議員について

稲川和成前広報委員長がインタビュー



(写真左から) 稲川前広報委員長、小池元防衛相、新藤代議士

小池百合子元防衛相

コンボ紛争を新藤代議士と現地視察した経緯は？

あれは十年前のこと。コンボ紛争の影響で大量の難民が近隣諸国に発生しました。細田現幹事長や新藤さんと一緒に現地を視察。結果として、阪神大震災で使った仮設住宅五百戸を送っただけでなく、現地で活躍する日本のNGOの皆さんも反映させ、ジャパ・プラットフォームとGO(政府)を結び組織を立ち上げました。仮設住宅は被災者でもあった私の発案。NGOのまとめは新藤さんの活躍によるものです。現在、難民支援にあたるNGOの活動は、新藤さんが築いたベースなしには語れません。困難に直面した人の目線に合わせた新藤さんの政治家としての活動は、埼玉だけでなく、世界でも通用しているのです。私はそのことを断言できます。

委員会や部会を通しての新藤代議士の仕事ぶりについて、長所や短所等お聞かせください。

テロ対策、海賊対策の委員会でご一緒している新藤さんは、つねにポイントをついた質問で有効な結論を引き出す名人です。率直なもの言いは、人を動かす、法律を作り、結果として安心安全な社会作りにつながっています。私たちの仕事は、国民生活に必要な法律を作ることに立役者の役目です。新藤さんの実力はみなで認めるところです。

小池先生から埼玉二区の党員読者の皆さんへ、激励の一言をお願いします。

これからの政治家は古いしがらみにとらわれず、変えるべきは変える実行力のある人。一方で、守るべき日本の伝統や文化は、かたくなに守る人が必要です。「着眼大局着手小局」という言葉があります。市会議員の経験を活かして、皆さんの身の回りのことを配慮しながら、国家の大局を考へる人です。部下を思いやりながら、国家を守るという志を持った栗林中将のDNAを受け継ぐ新藤さん。これらが楽しみです。

地球温暖化対策としてクルビズを提唱した私ですが、人によっては、「うーん」と唸る場合があります。でも新藤さんは、クールビズをキツチリ感のある軽装をおしゃれに着こなすモデルケースです。議員会館の部屋も、学生寮のように乱雑な部屋が多いなかで、新藤さんの部屋は書類がキツチリ整理され、とてもおしゃれ。こんなちよつとしたセンスが素敵です。

自民党の中で新藤代議士はどのような存在ですか？

言うべきときは明確に、簡潔に主張される新藤さんは、党内でも一目置かれています。嫉妬が渦巻く、悪口、陰口の多い世界ですが



和やかな雰囲気の中、進行しました

新藤義孝
衆議院議員
について

小池百合子元防衛相

圧勝！

川口市長選挙

岡村幸四郎氏

川口市議補欠選挙

杉本かよ氏

国にももの申す

～教育の充実が豊かな社会への道～

情報満載

鳩ヶ谷市

自由民主

2009年夏号

新藤義孝衆議院議員

川口に急行を停める
世界に地元を売り込む
総力を挙げて、今こそ。

全速力で、総力を挙げて、今こそ。

しんどう義孝にさらなる力を



プロフィール

昭和33年川口生まれ。当選3回。自民党。
 総務大臣政務官、外務大臣政務官、党・国防部長、
 経済産業副大臣等を歴任。
 現在、党マルチメディア局長、川口ふたば幼稚園・園長。
 家族／父・妻・長男・次男・長女・愛犬

新藤義孝

● 行きづまった世界の金融、疲弊した日本の国家システムの中で、今、決めなければならぬのは、自民か民主かという政党選びではありません。

● 求められるのは、『政治家の気質』そのものです。

● ムダをなくし、ウミを出し、いかにスッキリした『新しい国家のかたち』を創れるか。それが一番大切なことです。

● 今こそ与野党の枠にとらわれず、しがらみのない発想で、国とくらしの明日のための政策を訴えてまいります。

● この街から国政に送り出していたいて10余年。

● 産業・外交・防衛など国家の大きな仕組みから、医療年金・教育・中小企業対策などの街や身近なくらしの課題まで、真正面から一つずつ取り組んできました。

● 苦しい時も、つらい時も、政治の中で人情を知り、感謝の気持ちを感じました。これからは勇気とやさしきをもつて、粉骨砕身この身を投げ打ち全力で取り組んでまいります。

● どうか皆さまの更なるご支援をよろしく願っています。

都心と川口を結ぶ／川口に急行を停める

- ◎湘南新宿ラインを川口に停める。これが街の悲願です。乗降客数16万人は大宮駅に次いで県内2位の混雑駅で、もし事故が起こったら代替路線がないなど大変危険で不便な状態です。
- ◎そこで、川口駅への急行停車を求め、国・県・市の自民党議員団がJRと交渉をはじめています。
- ◎川口市は、新ホームの用地を西口側緑地帯として既に手当済みです。そして湘南新宿ラインは、西側の貨物路線を通過します。つまり新ホームの建設は、物理的・技術的に、可能であるとJRも認めています。
- ◎しかしJRは、停車駅の増加による速達性の低下や、ダイヤ問題などから実現は難しいと主張しています。
- ◎この問題を突破する唯一の方法が、市民の熱意です。市民の熱意を、直接JRや国へ届けるため、「川口・鳩ヶ谷大署名運動」を開始しました。もちろん政治的にも粘り強く交渉を進めています。街頭など署名活動を見かけられたら、ぜひともご協力をお願いします。

外交と景気を結ぶ／世界に地元を売り込む

- ◎景気対策に全力を挙げています。経済産業副大臣時代の活動が次々と成果を上げはじめています。
- ◎まず、資源外交です。エコカーのモーター部分に必要

なレアアースは希少で、確保するのが難しい鉱物です。ベトナムに出張した交渉が実を結びレアアースの鉱山開発がはじまっています。

- ◎次に貿易です。ペルーに出張し交渉した投資協定がこのたび締結し、EPA（経済連携協定）交渉が始まりました。さらに地デジの日本方式採用に成功しました。
- ◎エコカーのレアアースを使ったモーター部分の技術は川口の企業が担当しています。また、ペルーとの貿易が拡大し、地デジ対応のテレビやDVDなど日本製品の需要拡大が見込まれます。車もテレビもその部品は川口・鳩ヶ谷はじめ中小企業が供給しているのです。
- ◎日本を売り込む世界経済戦略で、地域経済にも活力を与える。世界と地元を複眼で構想し結果を出す。そういう想いで仕事をしています。



08年5月 ペルーにてAPEC（アジア太平洋経済協力）貿易大臣会合に日本の担当大臣として参加。自由貿易体制の維持拡大を主張すると共に、各国代表と貿易交渉を行いました。

戦争の爪痕、未だ消えず～不発弾に苦しんで

鳩ヶ谷市情報



平成十九年十二月十八日鳩ヶ谷市辻地区の民家跡地から、戦時中に米軍が落とされたと思われる不発弾が発見されました。深さ3.5メートルの位置から黒色をした胴体の二百五十キロ爆弾と断定されました。全長は1.4メートルで、戦後六十年以上が過ぎており、かなり腐食等が進んでいると思われましたが、水分の多い地中に埋まっていたためか、しっかりとした原形をとどめている姿に不気味さを感じました。半径三百メートル以内の住民等に避難指示が出され、三月に撤去処理されました。

鳩ヶ谷市では以前からの地区に不発弾が複数発見されているという地元住民からの証言がありました。事実、不発弾が発見された地区の元所有者も自宅の敷地内に数発の不発弾があると言っており、処理をお願いする時詳細を記した手紙を当時の土屋県知事に送っていたという事です。現地はマンション建設のため業者が住民の証言を元に調査を行い発見したもので、その後、敷地内の他の場所を証言に沿って業者が調査したところ新たな反応はなく、工事を開始したところ地中に埋め込んでいた



パイルが不発弾にあたり、なんと二発目が発見され、五月に撤去処理となりました。接触したところが悪ければ大惨事になっていた可能性があります。しかし、これはこれで終わらせません。十二月から行われた業者側の再調査において、またも不発弾の可能性の高い反応が確認されました。しかも二発。一発は前回と同じ敷地内からもう一発は別の証言があった敷地に接する公道敷地内からの反応です。予定では今後詳細な調査の後、六月後半に撤去処理を行う予定です。

以前から住民の証言があったにもかかわらず、なぜ何度も調査処理をしなければならなかったのか。調査には莫大な費用がかかるため、業者側は民間だけでは負担しきれず、また近隣住民を巻き込む懸念もあることから市に調査を要望しました。市は開発行為にかかる調査費用は業者側で負担することとして自らの調査は行いませんでした。しかし、再三の不発弾の出現によって市もやっと調査に動きました。

不発弾処理は国の責任で

本来戦争の爪痕である不発弾はすべて国の責任において調査処理をするべきです。しかし、国の補助金等は探査には支給されるが調査には支給されないというような複雑な事業があり、また、撤去費用に際しても補助金は工事費だけで、残りの諸費用数千円は自治体が負担することとなり、しかも国は年間不発弾二、三分の捕縛金だけしか予算付けされていません。今回の工事費に際しても、今度の支出先は確定されておらず、新藤代議士にお願いしなんとか工事費を捻出してもらったと聞きました。多くの費用がかかるためとはいえ、何度も住民を危険にさらすことにもなります。最近では沖縄の糸満市で道路の工事中に工事車両が誤って不発弾を爆発させてしまった惨事になったところ。沖縄では現在年間三百件が行っているという事です。費用に際しては公共用地に関しては国の費用負担をするが民地に関しては負担できないという、何とも納得できない制度です。

周辺住民等に避難指示が出され、不発弾の撤去処理が行われました(写真上)。

緑でつなぐ街づくり 温暖化防止対策

地球の生態系に大きな影響を与える温暖化を防止する対策が、世界的に始まっています。しかし、その実態は必ずしも進んでいるとはいえません。京都議定書において日本も温室効果ガスの排出量を二〇一二年までに一九九〇年比で六%減らすことで合意していますが、最近のデータでは逆に九%増えているというデータもあるようです。一般家庭からの排出量が増えていることも、原因の一つといわれています。

鳩ヶ谷市では、環境市民会議の設置や緑のカーテン事業、環境活動パネル展などの開催など、地球温暖化問題に対する市民意識の向上を図るための活動を行っています。なかでも緑のカーテン事業はゴーヤなどの植物を利用して涼を作り出しエネルギーの無駄を削減する試みの一つとして、毎年四月にゴーヤづくり講習会を開催しています。市民への浸透も年々深まっております。協力してくれる施設も増えています。



ゴーヤづくり講習会を実施

浦和レッズ応援宣言!

浦和レッズと共に目指す地域活性化

鳩ヶ谷市では浦和レッズと連携した商店街&地域の活性化企画として、浦和レッズ応援宣言事業を開始しました。

レッツの本拠地となった埼玉スタジアムは、鳩ヶ谷市から直結している埼玉高速鉄道で至近距離にあり、市内には地元意識の高いレッズファンが多く見られます。このような背景を踏まえ、サッカーというスポーツを愛する心から多くのコミュニティの誕生を目指すという浦和レッズの理念である地域社会への貢献活動に共鳴し市内の活性化策を共同で行う提案をしました。

市では平成二十年七月二十一日にレッズ側から依頼され、当日試合前に行われ、イベントには市内中学校吹奏楽部が出演



イベントには市内中学校吹奏楽部が出演